

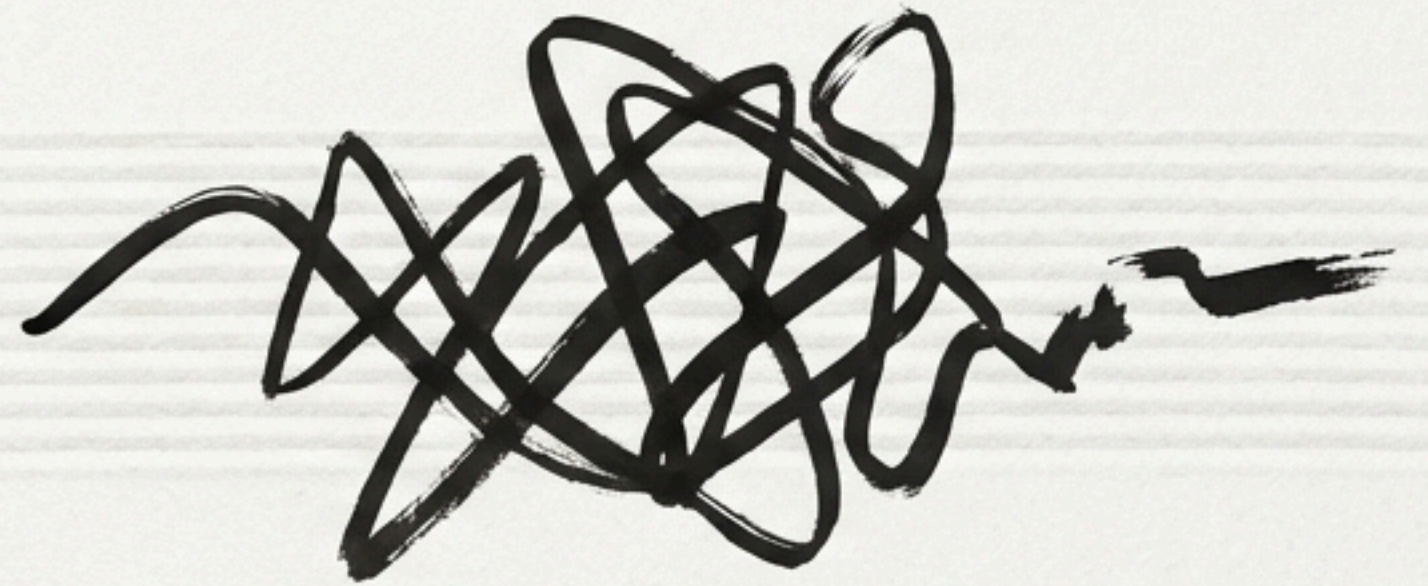
バイアンドホールドという「待つ力」

投資における信念と構造 | Taoism



買って、持ち続ける

多くの人が途中で手放してしまう



最もシンプルでありながら、最も難しい手法

なぜか？それは単なる手法ではなく、
「信念」と「理解」と「待つ力」が求められるから。 ■

企業の本質とは何か？

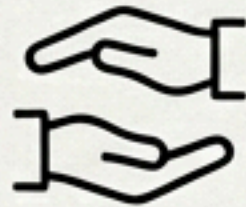


単なる株価のチャートではない

企業とは「人の集合体」である



製品を作る人



サービスを提供する人

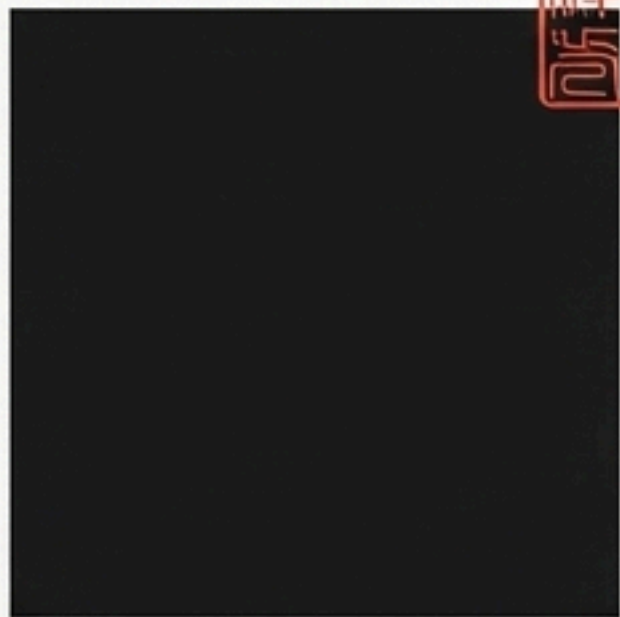


価値を創造する人

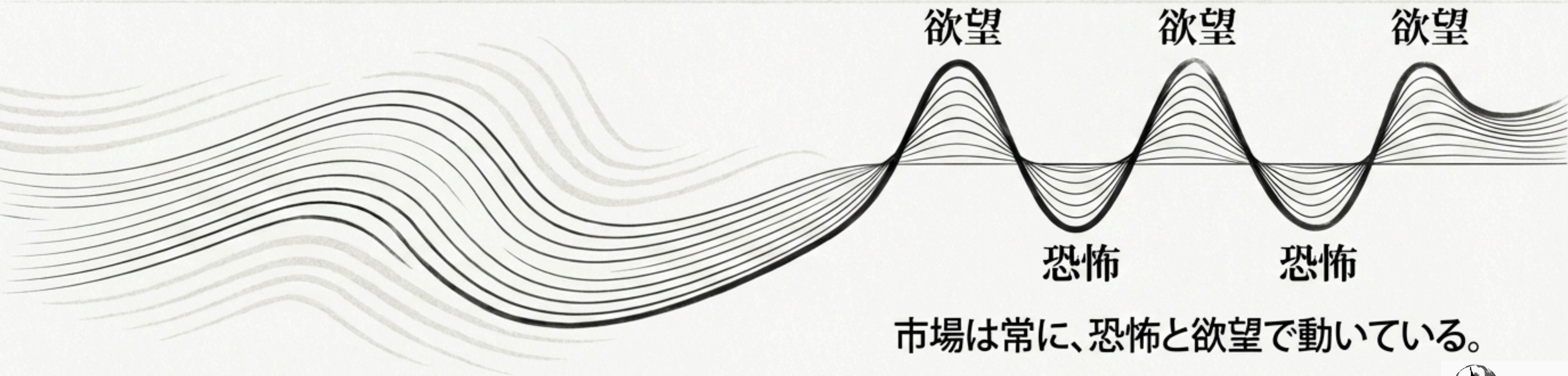
企業価値とは
「未来の価値創造能力」。

信じられる企業を
持ち続けるという行為が、
ここに成立する。

心の静



バイアンドホールドは「放置」ではない。
周囲が恐怖で売る時に買い、
熱狂している時に冷静でいる。
つまり「感情の逆を取る構造」である。



真のバイアンドホールドを成立させる「理解」



マクロ視点 全体を見る

- ・市場の構造
- ・業界の流れ
- ・経済の大きな方向性



ミクロ視点 分解する

- ・企業の収益構造
- ・顧客数・単価・利益率
- ・競争優位性

分解したものを再び統合する往復運動。



この作業によって、理解は「確信」に変わる。

投資の本質は
タイミングではなく
「待つ力」

待てない

- ・少し上がると利確
- ・下がると恐怖で売る
- ・周囲に流される

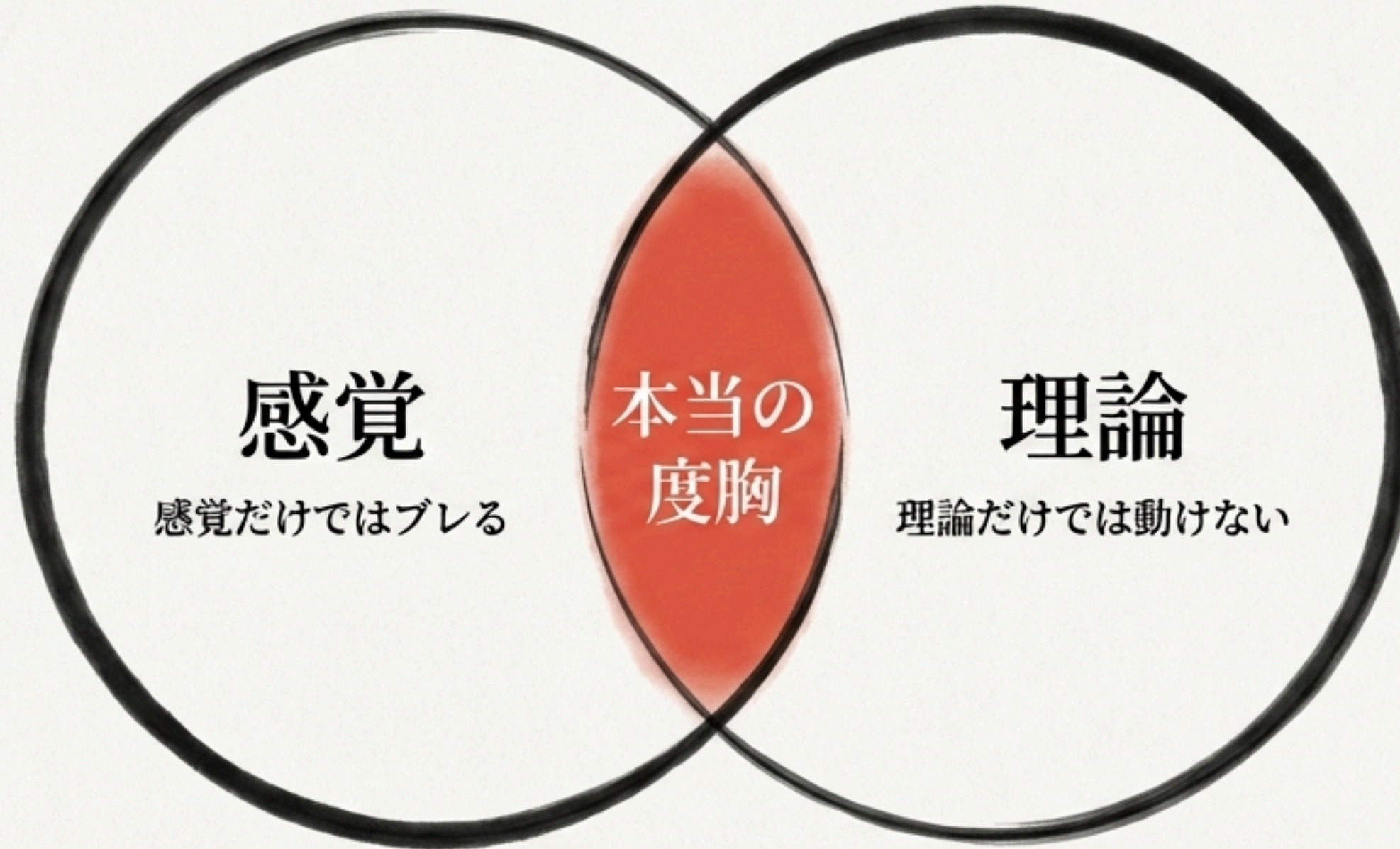
理解不足から来る不安

待てる

- ・構造を理解している
- ・価値を理解している
- ・未来を描けている

待てる者だけが
「複利」を得る

投資における「本当の度胸」とは？



正しい感覚と正しい理論が一致した状態。
この二つが重なった時、初めて揺るがない判断ができる。

気づきのマトリックス：あなたはどちらを見ているか？

価格を見ている

価値を見ている

知識・経験不足による不安

リバースエンジニアリングによる確信

分かったつもりで動く「慢心」

問い続ける「探求」

だからこそ問い続ける。何を信じるのか。どこまで待てるのか。

TAOISMは「整える」思想

その先にあるのが
「静」の状態。

心を整える

感覚と理論の均衡

理解を整える

マクロとミクロの融合

信念を整える

企業の本質を見る



この流れに到達した時、
投資は「我慢」で
はなくなる。
それは「自然な状態」
になる。

投資とは、自分との対話です。

あなたは、その企業を本当に信じていますか。

そしてその信念を、最後まで持ち続ける覚悟はありますか。

本質を見抜き、理屈を理解し、徳を磨き、共同体と共に歩む。

Taoism |

